

第 26 期・第 1 回 健康・生活科学委員会 議事録

日時：2023 年 10 月 4 日（水）13:30～15:30

場所：日本学術会議 5-B 会議室およびオンライン会議システム

出席 会場：磯博康、西村ユミ（司会）、森山美知子（書記）

オンライン：山口香、杉山久仁子

欠席：熊谷晋一郎、玉腰暁子

（五十音順、敬省略）

自己紹介

「健康・生活科学委員会」に所属する委員の自己紹介を行った。

今後、第 2 希望としていたメンバー等が加わる可能性がある。

議題

1. 役員の選出と決定

委員長：西村ユミ

副委員長：杉山久仁子

幹事：熊谷晋一郎、玉腰暁子

2. 第 26 期分科会のあり方について

- 「分野別委員会の下に設置される分科会等の設置について」を参照しつつ検討した。
- 分科会の名称の検討について：検討課題を明確に示す名称へ分科会の名称を変更するという意見が出された。（参考：部によって名称が異なる。第一部は検討課題の名称、二部は専門領域の名称が多い傾向にあることを確認）。他方で、名称を検討課題に絞り過ぎることで、検討の範囲が狭められる可能性があることが懸念され、バランスを考えて検討することを方針とした。
- 以下、各分科会について、継続、統合等の方向性、委員長及び検討課題の確認を行った。検討事項の回答については、10 月末頃をめどに西村委員長にメールで報告する。10 月末に間に合わない場合は、幹事会申請前に報告する。

「パブリックヘルス科学分科会」（磯委員）

- 第 26 期は、平時、緊急時の公衆衛生人材育成について継続課題として意見表出を行う予定である。また、その他、パブリックヘルスに関する幅広いテーマについても検討する。
- 委員長については、磯会員が学術会議の副会長となったことから、新たな委員長、副委員長について検討する。

「看護学分科会」(西村委員)

- 第26期も継続
- 委員長は西村ユミ、副委員長は森山美知子の予定。幹事：検討中
- 第25期は、With/after コロナ時代における地元創成看護学や看護デジタルトランスフォーメーションについて議論し、「報告」を発出した。これらの議論から、科学的助言が必要な複数の課題を見出している。他分野の委員を加え、意見表出を行う予定である。

「生活習慣病対策分科会」(磯委員)

- 第26期は、継続課題として学校教育との連携について検討し、意見表出を行う予定である。

「脱タバコ社会の実現分科会」(磯委員)

- 第25期で分科会において「報告」を公表した。
- 第26期は、パブリックヘルス科学分科会、あるいは生活習慣病対策分科会の中で議論できるよう調整したい。

「健康・スポーツ分科会」(山口委員)

- 第26期も継続
- 委員長：山口香、副委員長・幹事については検討中
- 名称を含めて変更を行う必要あり。学協会ではできない「統合知」をどのように出すかの議論あり。提言等を発出できる分科会に再構成する必要あり。(名称変更については、10月末までには届出を行う。複数の領域とで連携する必要あり)。検討内容の方向の転換を図る計画。

「家政学分科会」(杉山委員)

- 第26期も継続
- 委員長：杉山久仁子、副委員長・幹事については検討中
- 25期では子育て支援について分野横断でディスカッションした。これを、分野拡大を含めて発展させたい。分科会の名称をテーマで絞り込まないことで、新しい課題を複数話し合うことが可能となる。→これに対して、テーマの絞り込みが必要との助言があり、今後検討する。

「高齢者の健康分科会」(住居連携会員)

- 第26期も継続の意向あり。しかし、「臨床医学委員会」の「老化分科会」(生物学的老化をテーマ)との区別の曖昧さがあることから、テーマ(方向性)を絞り込んで、明確な区別ができるようにする(意見として、介護保険制度の持続可能性等制度についてのテーマに絞り込むことができるのではないか。)
- 委員長：現在は連携会員。会員が担当したほうがロジスティックが行いやすいとの点から、森山委員への意見あり。今後、会員の中から委員長を選出する方向

で検討（第 25 期委員長（住居連携会員）と森山委員とで話し合う。）。
「少子高齢社会におけるケアサイエンス分科会」（西村委員）

▶ 第 26 期も継続

▶ 委員長・副委員長・幹事は検討中（少子高齢と分科会名に入れているが、障害を有する人を対象に拡大、またはこちらに絞り込んでもよいのではないかとの意見あり。そのため、委員長については、熊谷委員を含めて検討）

▶ 上記の理由から、名称については再検討する（名称はこのままで、障害を有する人に絞り込むこともできるとの助言あり）。

3. 議事要旨の提出に関する委員長一任について

委員会等の議事要旨の作成後、所属委員への回覧を行った後、微修正を含めて最終的な承認については委員長一任とすることを決定した。

4. 委員会委員間のメールアドレス共有について

参加者全員が了解した。

5. 連携会員説明会について

10 月下旬～11 月上旬の開催予定について確認した。

以上